

平成20年5月21日

～約半世紀ぶりに塗色を一新～
5月23日（金）新カラーデザイン車両を初めて営業運転します

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：上田成之助）では、京阪ブランドの確立に向けたイメージ改革の一環として、京阪グループブランド戦略のカラーデザインコンセプトに則り、京阪線車両のカラーデザインを一新します。この度、その第1弾として、3ドア・ロングシートの一般車両（7200系）1編成の塗装が完了し、5月23日（金）から営業運転を開始します。また、6月下旬からは8000系特急車両も順次、装いを新たにしてお営業運転を開始する予定です。

今回のカラーデザイン変更では

- 2 ドア・クロスシートの特急用車両
- 3 ドア・セミクロスシートの中之島線直通優等車両
- 3 ドア・ロングシートの一般車両

に区分し、それぞれのイメージに合わせたカラーデザインを採用しました。

今後も塗装変更を進めていき、平成24年までにすべての車両でカラーデザインの変更を完了させる予定です。



(別紙) カラーデザインイメージ

< 5月23日から順次営業運転 >



3ドア・ロングシートの一般車両

< 6月下旬から順次営業運転 >



2ドア・クロスシートの特急用車両

< 今秋10月19日、中之島線開業にあわせて営業運転 >



3ドア・セミクロスシートの中之島線直通優等車両

以上